

27.5.29

佐倉市

教育センターだより

Vol.36

平成27年5月29日発行／佐倉市教育センター／TEL. 043(486)2400 http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/13-6-0-0-0_6.html



名前で呼んで、気持ち良いスタートを！

佐倉市教育センター所長 真下 誠

平成27年度がスタートしました。新しい出会いが佐倉市のいたるところであったことでしょうか。学校でも転入された職員及び新規採用職員が着任し、新たな出会いがあったことと思います。出入りが多かった職場では、職員全員の名前と顔を一致させるまで時間がかかったということもあったのではないのでしょうか。

さて、年度当初は、新たな出会いがあるので、私自身こうしていこうというものがあります。それは、人に話しかける、声をかける場合のことです。私は、相手に話しかけるとき、「〇〇さん」と名前で呼ぶように心がけています。なるべく早く、名前を覚えて名前で呼ぼうと心がけています。

学校現場では、こんな光景が目には飛び込んでいませんか？『先生』聞いて、昨日、教室でこんなことが…』『そうなんですか『先生』、それは…』『先生』、私も同じようなことが…』というものです。不思議ですが、なんと会話が成立してしまいます。これはこれでいいのかもしれませんが、私は「〇〇さん」、「〇〇先生」と呼ぶようにしています。なぜかという、私自身、「真下さん」と呼ばれるのがうれしいからなのです。呼んでくれた人に認めてもらっているという感覚になるのです。そして、呼んでくれた方にすごく親密感が持てるのです。

職場の職員は、何日か過ぎると、自然と名前と顔が一致してきます。しかし、職場には、職員以外のいろいろな方々が入り込みます。学校であれば、保護者、PTA役員、ボランティア、業者等さまざまな方々と顔をあわせることとなります。着任後、いきなり名前で呼ぶのは、当然、無理だと思いますが、何度か会った後は名前で呼ぶようにしたいです。私の経験から、「なんで私の名前を知っているの？」という不信感はなく、何か嬉しそうな顔でこちらに反応してくれることが多かったように記憶しています。これらの方々には、「先生」というオールマイティな名称は使うことができません。名刺をもらったり、名札を覗き込んだり、人に聞いたり何らかの努力をしないとなかなか名前と顔が一致しません。名前を覚えるという単純な行為ですが、何もアクションを起こさなければ覚えることはできないのです。その結果、名前を呼ばずに会話をしたり、業者さんであれば会社の名前で呼んだりしてしまいます。名前を覚えるという行為は、結果として保護者・地域の方々とは積極的に触れ合うことになるのです。大げさに言うと、家庭・地域と連携した学校づくりができてくるのです。

これからも私は、肩書や役職で相手と呼ぶことはさけ、名前で呼んでコミュニケーションをとっていくことにします。子どもたちに対しても代名詞を使わずしっかり名前で呼んであげることが大切のように思います。地域の子どもに、学級の児童生徒以外の子どもに、名前で呼べるように努力をすることでより良い人間関係づくりが構築できることでしょうか。地域の人から、たとえ注意されたとしても、名前で呼ばれたその子どもは素直に非を認め、言動を改めようとするかもしれません。

ぜひ、名前で呼んで、気持ち良い平成27年度のスタートを切っていただければと思います。

平成27年度の、佐倉市教育センターの事業を推進する上での重点は、6つの事業(学力向上・特別支援教育・教育相談・道徳教育・学校図書館・教育センター普及振興)を、スピード感を持って、丁寧に、十分説明責任を果たしながら進めていくということです。年度当初、所員ともどもこのことについて確認をいたしました。頼まれたことは期限を切って、相談者に寄り添って、相手に十分趣旨説明をして各事業を推進していきます。本年度もよろしく願いいたします。

基礎基本の定着と活用力の育成をめざして

～平成26年度 佐倉市学習状況調査の結果より～

平成26年度の学習状況調査の分析結果と考察を、ダイジェスト版にまとめました。現状と課題から学力向上に向けた指導の改善に役立てられるよう、日々の指導にすぐ生かせるようなキーワードを考えてみたいと思います。また、佐倉に関する意識調査から見えてきた、地域と学習の関連についても考察しました。

ここでは、調査結果の一部を掲載していますので、詳細は報告書をご覧ください。

基礎基本の定着に向けて(A問題)

マークの見方: ○ 評価できるところ



課題



改善キーワード

国語

○ 全体的に正答率が上がってきている。

! 日常的に使わない漢字や言葉、特別な読み方の漢字、紛らわしい送り仮名の正答率が低い。

《課題の見られる問題の例》

| 学年 | 問題 | 正答率 |
|------|-----------------------|-------|
| 小学1年 | 一月一日【特別な読み方の漢字】 | 73.7% |
| 小学4年 | ひもがミジカイ。【紛らわしい送り仮名】 | 62.4% |
| 中学3年 | ショメイのお願い。【日常的に使わない漢字】 | 50.6% |

! 日常的に

漢字や言葉は、繰り返しの練習とともに、日常、書く文章の中で意識的に使っていくことが大切。基礎的、基本的な内容は、暗記だけではなく、多く用いることで定着させていきたい。

算数・数学

○ 基礎的・基本的な計算や関数、面積、体積について、内容の定着が見られる。

! 単元や個によって、定着に差が見られる。

《課題の見られる単元の例》

| 学年 | 単元 | 正答率 |
|------|------------|-------|
| 小学4年 | 3けたのかけ算 | 72.6% |
| 小学5年 | 分数のたし算・ひき算 | 76.8% |
| 中学3年 | 二次方程式 | 64.6% |

! 生活と結びつけて

実感的に理解して生活の中でどのように使われているのか知ること、知識・理解が広がり、活用力に生かされていく。同時に、算数・数学的活動も積極的に取り入れていきたい。

理科

○ 実験や観察に伴う知識・理解や、身近な題材に関する内容の正答率が高い。

! 視覚的にイメージしづらいもの、実感としてとらえにくいものの正答率が低い傾向が見られる。

《課題の見られる単元の例》

| 学年 | 単元 | 正答率 |
|------|-----------|-------|
| 小学4年 | もののあたたまり方 | 75.0% |
| 中学2年 | 電流とその利用 | 54.2% |

! イメージ図

視覚的・体感的にとらえにくい内容は、イメージ図やモデル図を描くなどして可視化すると捉えやすい。また、生活と結びつけて実際に役立つことを実感させることで、学習への意欲をさらに高めていきたい。

英語

○ 前年度に比べて、リスニングの正答率が大きく上がっている。

! 文法や慣用句の定着に課題が見られる。

《課題の見られる問題の例》

| 学年 | 問題 | 正答率 |
|------|--|-------|
| 中学1年 | He () a soccer fan. 【isn' t】 | 34.5% |
| 中学2年 | I () to study English today. 【have】 | 55.9% |
| 中学3年 | This box is the () of all. 【smallest】 | 55.5% |

! スパイラル(くり返し)

繰り返し口頭で言わせたり様々な場面で指導したりすると、正しい文構造や慣用句、表現等が定着していく。また、コミュニケーション能力の育成にもつながっていく。単元内だけでなく他の場面でも活用できる汎用的な能力も育てたい。

活用力の育成に向けて(B問題)

国語

文章読解の力が付いてきている。

全体のつじつまを合わせて書いたり、文章全体の筋道を整えて書いたりする力が弱い。

《課題の見られる問題の例》

| 学年 | 問題 | 正答率 |
|------|------------------------------|-------|
| 小学5年 | 新聞記事A・BとCのグラフ内容から考えを書く。 | 56.1% |
| 中学3年 | A・Bの文章を読んで考えたことを条件に従って感想を書く。 | 30.4% |

積み重ね

国語科で条件に従って書く練習を積み重ねるだけでなく、他教科の授業でも根拠をもとに自分の考えを書く活動を、積極的に且つ計画的に取り入れていきたい。また、意見交換をして自分の表現を磨いたり、学校図書館を活用して語彙や表現を豊かにしたりすることも併せて行い、書く力を伸ばしていきたい。

算数・数学

公式を活用して問題を解く力は定着してきている。

見通しをもって問題を解いたり、筋道を立てて考えたりすることに課題がある。

《課題の見られる問題の例》

| 学年 | 問題 | 正答率 |
|------|------------------|-------|
| 小学6年 | 佐倉市の人口はおよそ何万人か。 | 56.1% |
| 中学1年 | Bさんが最少回数で逆転するには。 | 30.4% |

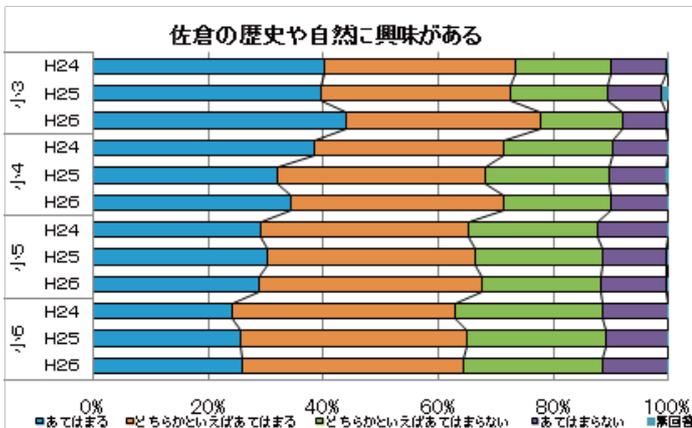
位置づける

問題解決の過程で、説明し合ったり表現したりする場面を、授業の中で意図的に位置づけていくことが大切。その際、具体物の操作や体験活動を取り入れると言葉にしやすい。また、ポイントを絞った発問やワークシートを活用するのも表現力を育てることにつながっていく。新聞や身近なデータ等、生活に結びついた素材を使うことで、意欲をもって取り組むとともに有用感をもたせていきたい。

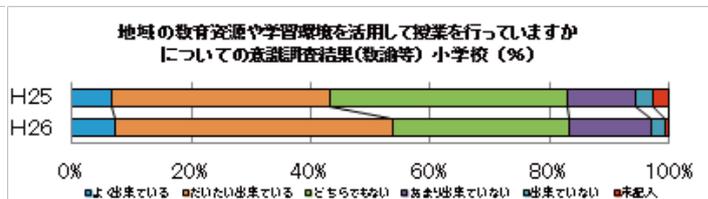
子どもたちは「佐倉の歴史や自然に興味がある」(佐倉に関する意識調査より)

児童生徒の佐倉の歴史や自然に対する興味は、平成24年度から3年間増加傾向にあります(資料1)。これは、学習状況調査の教諭等の意識調査からわかるように、先生方が、地域の特性を生かした授業展開を意識的に行うようにしていることと関連していると考えられます(資料2)。また、「佐倉について学習することが好き」と感じている児童生徒は、特に小学校で多くなっています(資料3)。小学校では社会科や、道徳、総合的な学習の時間等で、地域について取り上げ、学習することが多いからでしょう。佐倉には、歴史や自然、文化など教育資源が豊富にあります。教科等の学習に意図的・計画的に身近な素材として取り入れていくことで、地域に根差した児童生徒の育成につながるとともに、生活と結びついた知識・理解、また、生活に生かせる知識・理解になっていくのではないのでしょうか。

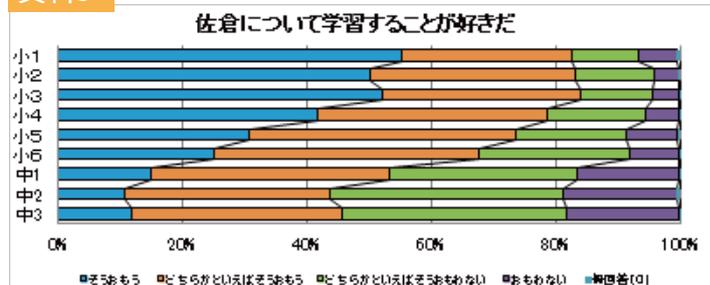
資料1



資料2



資料3



平成27年度 佐倉市の教育相談事業

適応指導教室

何らかの理由で学校生活に不適応な状態になっている児童生徒に対して、学習や小集団生活の場を提供します。そこでの生活の中で自己肯定感を高めるとともに、コミュニケーションを通して、他の人と信頼関係を築いていくことで学校生活への復帰をめざしていきます。

○開設日

- ・月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）午前9時～午後4時
- ・児童生徒は午前10時～午後3時での活動となります。
- ※志津教室は、第2・4月曜日は複合施設内のためお休みとなります。

志津教室

佐倉市西志津4-1-2（西志津ふれあいセンター2階）
電話 489-1002



小集団による活動を行っています。コミュニケーションの育成や学習支援をしています。

佐倉教室

佐倉市栄町8-7（佐倉市ヤングプラザ2階）
電話 484-6611



個別対応を中心に支援し、学習支援も行っています。

一日の生活スケジュール

| | |
|-------|---------------------|
| 10:00 | 朝の会 一人一言（今日の目標） |
| 10:10 | 各自の計画に沿った学習 |
| 11:00 | 休憩 |
| 11:10 | 各自の計画に沿った学習 |
| 12:00 | 昼食（お弁当）・昼休み |
| 13:00 | 昼の読書活動、スポーツタイム |
| | 楽しい活動（創作活動・卓球・レク等） |
| 14:50 | 清掃 帰りの会 一人一言（今日の反省） |
| 15:00 | 帰宅 |

どんな活動をしているの？

毎日の学習のほかに、創作活動や校外学習などの交流活動を行っています



クッキーづくり



成田空港見学

教育電話相談

佐倉市ヤングプラザ2階に設置している「教育電話相談室」には、市民、保護者・児童生徒など様々な方からの相談が寄せられます。内容としては「家庭問題に関すること」が一番多く、「不登校に関すること」「しつけ・育児に関すること」の順となっています。相談を受けた場合、内容によっては、より専門的なアドバイスを受けられる相談窓口を紹介するなどしています。今後も身近な相談先の一つとして周知を図っていきます。

不登校相談ネットワークの構築

保護者・学校・適応指導教室が一体となった不登校相談のネットワークづくりを支援しています。

相談員や子どもたち同士の交流を通して、一人一人が安心して生活でき、少しずつ学校復帰や希望する進路へ向かっていけるよう支援していきます。

経験豊富な学校教育相談員の先生方

【志津教室】

大崎直美 中村恵利子 川島正一 小原清子

【佐倉教室】

川上良輔 佐久間昭 鷲頭栄子

平成27年度 教育センターの特別支援教育

発達相談

担当の学校教育相談員：山辺浩子・小澤千晶・熱田絹江
学校支援コーディネーター：濱野輝子

学校(園)生活や家庭生活でうまくいかないことが多い、学校への行き渋りがあるなど、困難さが見られる幼児・児童・生徒、その保護者の方を対象に相談事業を行っています。

必要に応じて保護者の方のご承諾のもと、諸検査等を実施して、より詳しく実態把握を行い、結果に基づく適切な支援について担任の先生とも連携を図り、楽しい学校生活につなげていきます。

- 相談日 月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)
相談時間 ①10:00 ②11:00 ③13:30 ④14:30
4コマ(各1時間)で対応
- 所在地 佐倉市将門町7(佐倉市立佐倉東小学校内)
- 電話 486-2400



どうぞお気軽に
お電話ください。

就学支援

担当の指導主事：越後貫義文・山本健太

保護者の方や学校からの就学に関する相談に応じます。学校・関係諸機関等と連携しながら、その子どもにとって一番望ましい就学の方法や、適切な教育支援の内容を一緒に考えていきます。

- 相談日 月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)午前8時30分～午後5時15分
- 場所 佐倉市将門町7(佐倉市立佐倉東小学校内)
- 電話 486-2400

インクルーシブ教育システム構築モデル事業(スクールクラスター)

今年度が研究指定最後の年になります。研究が終わっても、特別な支援が必要な子どもが、「みんなと一緒に」「適切な支援を受けながら」「最大限に能力を発揮」できるようにするための体制づくりを進めます。

すべての先生方が、以下のことに意識的に取り組んでください。

○ことばの発達に課題がある子どもへのさらなる理解を

すべての先生方に配付した「ことばの教室ガイド」を活用し、「おや?」と気づかれたときにこそ一読してみましょう。

○特別な支援が必要な子どもをチーム支援するための連携の強化を

「通常の学級」「特別支援学級」「ことばの教室」「盲・聾・特別支援学校」など、子どもの困難さに対する適切な支援を充実させるために必要なスクールクラスター(資源の組合せ)を作りましょう。

○子どものニーズに応じた合理的配慮の提供を

視力が弱いお子さんも、じっとしていることが苦手なお子さんも、学習の理解に時間がかかるお子さんも、困っているという点では同じです。一人一人の子どもの困難さに応じた学びやすさのための支援(合理的配慮)を意識しましょう。

平成27年度教育センター事業紹介

教育センターは、6つの事業《学力向上推進事業・特別支援教育推進事業・教育相談事業・道徳教育推進事業・学校図書館活性化事業・教育センター普及振興事業》を中心に、センター機能の充実を図り、各校の教育活動のニーズに合った支援をしていきます。

学力向上推進事業

- ・佐倉市学習状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果の分析・考察
- ・好学チャレンジ問題作成
- ・各種調査研究

特別支援教育推進事業

- ・就学相談・発達相談
- ・特別支援教育関連研修会
- ・特別支援教育支援員配置
- ・インクルーシブ教育システム構築モデル事業

教育相談事業

- ・適応指導教室の運営
- ・教育相談基礎講座の実施
- ・教育相談、教育電話相談
- ・長欠対策・生徒指導部会との連携

佐倉教育ビジョンの推進

道徳教育推進事業

- ・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」活用推進
- ・副読本検討委員会の運営

学校図書館活性化事業

- ・学校図書館司書派遣
- ・担当者会議及び研修会

教育センター普及振興事業

- ・センターだよりの発行
- ・各種報告書の発行
- ・センター等報告会の開催

センター機能を生かした取組や情報・資料の提供をしています

パートナーシッププロジェクトの実施

市内小中学校と提携関係を結び、学校のニーズに合わせた支援を長・短期的に行っていきます。

各種学習指導案、研究紀要の閲覧

市内各小中学校で作成、実践された学習指導案・研究紀要を閲覧できます。

各種教科書の閲覧及び貸出

佐倉市で採択していない、小中学校の教科書も閲覧・貸出を行っています。

先覚者パネルや佐倉学関係資料

先覚者のパネル・資料を保管しています。佐倉学の学習でご活用ください。

画家「芝千秋」の作品複製画

浅井忠の弟子、芝千秋の複製画を保管しています。授業等でご活用ください。

編集後記

日本の伝統的な食文化である「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、近年日本の伝統や文化が世界に広く知られるようになりました。また、「もったいない」「おもてなし」など日本人特有の精神が見直され、日本人であることを誇らしく感じた人も多いのではないのでしょうか。私たち教育センターの職員は、佐倉の子どもたちが、「佐倉が好き」「佐倉に生まれてよかった」と感じ、未来に向かって羽ばたいていけるよう支援して参ります。1年間よろしくお祈いします。